

CENTRAL PRESS

CONTENTS

- P2 中支部 9月支部例会
- P3 中③④&中⑨地区会員紹介
- P4 中①&中②例会報告
- P5 中③④&中⑨例会報告
- P6 青年部会
ほっと一息(中⑨)
- P7 コロナに負けるな
支部理事会報告

2020.10.20 <https://www.hiroshima.doyu.jp/>

vol.161

Human First!

～一人じゃない。心を一つに、
知恵を寄せ合い、この難局を全員で乗り切ろう～

広島中支部 9月支部例会

自社の強みをさらに磨いた経営戦略 ～メインターゲットは「40歳 A子さん」

支部例会の感想

報告者の働くま生活の井上社長には、コロナ禍を受けて、自社の強気をさらに磨いた経営戦略というお題でお話いただきました。「40歳 A子さん」をお店のターゲットに設定した経緯から、「40歳 A子さん」を設定した上での具体的なイメージ出し⇒お店作りの話が非常にわかりやすく、興味深く聞かせていただきました。お店作りをはじめとして社員教育などすべて徹底して「40歳 A子さん」を想定した上でのきちんとした戦略立て。組織としての会社全体にしっかりと浸透しているからこそその話だと思いました。そして、コロナ禍を踏まえて改めて自社の存在意義に立ち返り、未来に向けた想いについてのお話しは、これからの少子高齢化社会、AIの社会を迎える我々にとっても皆避けることができない現実として向き合うことの大切さを教えていただきました。司会の横山委員長の柔らかな語り口、裏方の皆様のおかげでzoomでの開催と思えないスムーズな進行でした。ありがとうございました。

文：勁草法律事務所 片島 由賀



報告者の井上氏

Zoomのホストを行うことになりました。

不安と緊張感はありましたが、参加者のほとんどが中支部の知っている人たちばかりなので、おかげさまで少々気楽に操作を行うことができました。

報告者の井上さんは、始終大慌てでなにひとつ言葉が耳に入っていない僕の方(カメラの後ろにいたので)に向かって体験報告をされていました。こんなに贅沢な事はないのにちょっと残念。運営的には、オペレータの人数不足で、カメラ切り替え忘れが起こって司会者の体だけを映してみたり、資料担当者が古い資料を共有したまま離籍してしまったりと数々のトラブルが起きてしまいました。

それでも、片上さんは「Zoomでの開催とは思えないスムーズな進行」と書かれているので、参加者の方々が気になるほどのミスではなかったようで安心しました。次は経営フォーラムのホストが控えています。初めての挑戦がホームの中支部例会で本当に良かったです。学ぶことも非常に多く、必ず次に生かしていきます。

文：(株) TomTak 毛利 武雄

運営側 秘話

はじめて参加者数95人という大人数の中での

※井上氏の報告要旨が「同友ひろしま」に掲載されています。是非ご覧ください。

同友会ベストプロの概要と登録のお願い

皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨今のコロナ禍の中で、悩みを抱える同友会経営者が少なくないでしょう。

そんな中、同友会の会員間による相談体制が取れないか検討した結果、各専門家による相談体制の確立を行うこととなりました。それが、「同友会ベストプロ」です。

そもそも、せっかく中支部内に各種の専門家(プロ)がいるにもかかわらず「会員間で活用できていないのではないか」という声も多く上がっており、また、専門家(プロ)の方も同友会活動の中で、専門家としてのスキルや得意分野を周囲に周知する機会が少ないという声がありました。

そこで、悩める経営者だけでなく、今回は問題解決の専門家(プロ)として専門家登録を行うことで、専門家(プロ)の皆様も同友会の仲間になが社を知ってもらえることができる良い機会と考えられます。

是非、専門家として登録をお願いいたします。

同友会ベストプロ登録票
2020.10.7

ご相談の多い項目	
財務などお金関連 融資・資金調達・資金繰り	IT関連 ソフト開発・ホームページ・ZOOM等
各種法律関連 契約関連・賠償問題・運用等	雇用・社会保険 雇用・助成金・退職金・年金等
事業構築 事業戦略・経営指針・経営計画	コンサルテイング 顧客開拓・新商品開発・助成金・補助金
広報宣伝・プロモーション 広告・パンフレット・チラシ・DM	その他

【ご相談対応可能な項目をご確認ください】

項目	具体的な内容	
専門分野		
事業内容		
中心となる業務(得意分野)		
保有資格		
コロナ対応の可否	可	不可
コロナ関連相談対応分野	対応を検討中	
対応しやすい曜日	曜日	曜日
対応しやすい時間帯	時から	時から
事業所		
同友会会員		

お問い合わせは事務局(TEL:082-241-6006 担当:橋本)まで
FAX 返信先:082-241-6007

【登録をお願いいたします】

まずは、専門家相談員の登録をお願いいたします。

その為に、中支部内で「同友会ベストプロ登録票」を記入して頂き、更にコロナ対応相談が可能かをご記入ください。

※少なくとも各分野で10名以上の専門家の方の賛同を得たいと考えております。

※登録票の「中心的な業務(得意分野)」には会員が相談できる内容がわかりやすいようにご記入をお願いします。

※将来的には会員間交流の一助になればと願っており、徐々にコロナ以外でも活用できる体制を作りたいと考えております。

※11月中旬の相談受付を予定しております。

【専門家ルール案】

- ① 基本的に相談料は無料とします。
- ② 相談は30分～1時間程度とします。利用回数は同種の相談では1回とします。
- ③ 実行援助の料金については双方で話し合って進めます
- ④ 相談には事務局が同席します
- ⑤ 初回の相談場所は原則事務局か ZOOM とします。専門家の方が相談のために事務局にお越しの際は、交通費1000円をお支払いします。
- ⑥ 相談によるトラブルについての責任は同友会では負いません。

■会員紹介コーナー

(株) 良和ハウス 専務取締役 問芝 法雪(といしばのりゆき)氏 (中③④)

(株) 良和ハウスの問芝法雪専務をご紹介します。ました。

会社は1986年設立、入社された時は社員6名の楠木店1店舗だったそうで、今や多店舗化し社員総勢300名程に急成長した会社です。

同友会へ入会されたのは2006年で、会歴は14年になります。入会されたきっかけは、当時の社員60名で多店舗化するにあたり、新卒採用と社員教育をどうするかで悩まれたのがきっかけでした。会社の特色としては不動産の中でも賃貸仲介業と建物管理業に特化している会社で、この2つの業務に関しては中四国ナンバーワンとなりました。建物管理委託業務契約などほとんどなかった時代から新たな業務のチャレンジに取り組んだ姿勢と、顧客からの信用の結果だと思います。

今年65歳となり、後輩社員へ残すもの・伝授する事をいつも思って仕事をしていることと、オフには趣味である遊漁船を利用しての海釣りの話で取材を終え

文：アーデザインスタジオ 秋本 正之



問芝 氏

■会員紹介コーナー

(有) 佐藤塗装工業 代表取締役 佐藤 英治(さとう えいじ)氏 (中⑨)

今回は(有)佐藤塗装工業の代表取締役 佐藤 英治さん取材、誠に勉強になりました。

安佐南区川内に事務所を構え、外壁塗装を行っている会社です。

佐藤さんは16歳の時に塗装業界に入られ、その後25歳で佐藤塗装工業の社長を務め現在まで、塗装業界30年・社長歴20年の立派な経歴です。

この30年は苦勞の連続でしたが、30歳の時から下請けをやめ一次施工にこだわり、手間を抜かず、且つ適正価格で『当たり前仕事を当たり前やる』事に決めました。すると施工したお客様から紹介が徐々に増えて行きました。そして今では塗料メーカーさんから不思議さと尊敬の念で『奇跡の佐藤』と呼ばれているそうです。

今後は「飲食店に例えるなら隠れた名店のようにになりたいですね」とのお言葉。大きくするのではなく、質を落とさず名店を目指したいとの事でした。ユーモアな人柄の中にある『信念』を感じた今回の取

文：クラフトホームワークス (株) 河内 伸一



佐藤 氏

■中①地区例会報告

開催日：2020年9月18日

同友会理念の実践に挑戦！～コロナ禍で八方塞がりの夜の街で～

報告者：(株)PAC 代表取締役 錫木 健一(すきけい)氏



錫木 氏

9月例会は、中①地区会員12名、他県・他地区8名の参加をいただき、広島東支部の副代表理事でもある(株)PACの代表取締役 錫木 健一氏に「同友会理念の実践に挑戦！～コロナ禍で八方塞がりの夜の街で～」というテーマでお話をいただきました。

“三密”を商品とされている錫木社長の会社のコロナ禍の影響は甚大で、ニュースなどで聞いてはいましたが想像を超えていました。しかし、錫木社長は状況を細かく分析して「コロナ対応経営計画書」を作成して実践され、コロナのお陰で変わったことを一つでも増やすというテーマで下半期経営指針書を改訂され、DX等いろいろな手立てを講じていらっしゃいます。

今のような未曾有の事態に同友会での学びが生きるのだと感じました。とても勉強になりました。

今回、地区会長や私ども運営の者以外はZOOMでのみ参加ということで、初めてのことでとても不安でしたが、錫木社長にとってZOOMはお手の物。お陰様で大きなトラブルもなく終わることが出来ました。

文：土地家屋調査士六箱事務所 六箱 将隆



例会の様子

■中②地区例会報告

開催日：2019年9月17日

京都嵯峨野 改革の軌跡と with コロナ ～40周年を迎えた「これまで」と「これから」～

報告者：(株)京都嵯峨野 代表取締役社長 藤正幸司(ふじまさ こうじ)氏



藤正 氏

9月17日に中②地区会の例会を開催致しました。参加者は27名(事務局に8名、Zoomに19名)でした。リハーサルでは学生時代から入社までの経緯のお話もありましたが、時間の都合でカットされていました。面白いお話だったので是非、個人的にお聞きになってみて下さい。

藤正社長が入社後、ブライダル業界の苦情等を聞き入れ自社へ取り入れ展開。大手企業による箱物至上主義が横行していましたが、新型コロナの影響による変

化。新型コロナによる影響や反響等を赤裸々にお話していただきました。

グループ討論は出来ませんでした。チャットでの質問で答える形となりました。

ブライダル業界に限らず新型コロナウイルス感染拡大防止対策はこれからも課題だと思います。新たな対策方法があれば意見交換して行けたらと思います。

文：らうんじ美やお 宮尾 美香



例会の様子

■中③④地区例会報告

開催日：2020年9月16日

「人生すべてがアンサンブル～笑顔を守る経営をめざして～」 S G エンジニアリング (株) 取締役 大西 奈々 (おおにし なな) 氏



大西 氏

大西さんのS G エンジニアリング (株) は建築資材の卸販売とI P H工法 (コンクリート補修事業) の普及・販売をされており、特にI P H工法は大西さんの実父であり現社長が開発し特許を取得したもので、既存のコンク

リート構造物を内部から健全にする工法でこれからの建築物保存など多岐にわたって注目される工法ではないかと感じました。

大西さんは、このI P H工法に今後の可能性を感じ、音楽教師から一転、会社に入社し経理等の業務をされます。同友会で例会や女全交での報告を聞き、自分そして会社の変わる必要性を感じ、会議を活用した社内改革に取り組まれます。会議を通じ社長をはじめ

社員全員が変わっていく様を実感し、コロナ禍においても社内一丸となって乗り切る対策を現在取り組んでおられます。大西さんのチャーミングな雰囲気とは違う、強い意志と決断力、そして実行力に、私自身も見習わなくてはと思いました。

恩師から送られた言葉…「人生全てがアンサンブル」。音楽も経営も「調和」が大切とS G社内改革に取り組む、大西さんらしい体験報告でした。社長の想いと大西さんの音楽のアンサンブルでつくられる夢の「社歌」楽しみです!!

文：(株) 中国光洋 平原 千秋

社内改革のための 自分自身に課したセブン (奈々) ルール

1. 一対一の関係を大切に
2. 会議は全員参加
3. 全ミーティングに関わる
4. 社長と社員の想いを繋ぐ架け橋となる
5. 現状と向き合い、気づきと学びを即実践
6. 理念を自分自身に落とし込み、伝え続ける
7. 笑顔と感謝



■中⑨地区例会報告

開催日：2020年9月4日

ニューノーマル時代の自社戦略を考えよう

報告者：(株)くるま生活 代表取締役 井上 康一 (いとうえ こういち) 氏 (福山支部)

中⑨地区会9月例会は (株)くるま生活 代表取締役 井上康一氏を講師に招き、「自社の強みをコロナ禍の中でさらに磨いた経営戦略」：メインターゲットは「40歳 A子さん」をテーマご講義いただきました。

来客想定顧客を「40歳 A子さん」と仮定したターゲット顧客に対するCS、具体的な取り組み方法、今後の取り組み方針等、具体的事例を交えた講話を拝聴し、参加した会員もその経営手腕に対し、感嘆の念を唸らす内容となりました。

今回も三密回避を主眼としてZoomでの開催となりましたが、95名と多くの参加者を募ることができ、またZoomミーティングを複数回重ねたこともあり、リアル会合と同様に充実したグループ討論・闊達な意見交換等が行われ、有意義な支部例会となったと思います。

文：(株) neutral.hiroshima 松田 祐司



例会スタジオだった事務局の様子

■青年部例会報告

2020年9月17日

青年経営者全国交流会 in 愛知 (オンライン開催) へ参加しよう

第48回 青年経営者 全国交流会



運送業の創業者(株)A.モンライン 代表取締役平澤氏が報告された第9分科会に参加。父親が営んでいた運送業に就職したが、“未来が見えない”という理由で独立し、新たな運送会社を立ち上げた同氏。両親との金銭トラブル、社員衝突などの課題に迫られる中、同友会先輩から逐一アドバイスを受けては実践することで会社が右肩上がりになっていくまでの話を報告されました。

平澤氏が話した“真の経営者とは社員を輝かせるサ

ポーターである”というメッセージ。そして、社員を巻き込みながら経営指針やビジョンを作成できるようになったとき、経営数値が圧倒的に伸びた…という数字交じりの報告が印象的でした。グループ討論では社内コミュニケーションをテーマに行い、社員を巻き込む極意、主体性を持たせる取り組みなど、レベルの高いフィードバックができました。リアルで会えない物足りなさはあれど、良い意味で密な交流ができ有意義な時間を過ごせました。

文：(株)ナカオカ 中岡 英也

※原文は丁寧な原稿でした。短縮バージョンを作っていただきました。詳しくは右のQRコードからご覧いただけます。PWはnakashibuです。



ほっと一息 ええねえ・・・



貞綱 氏

この度は(有)可部不動産商事の貞綱 良平さんにZoomにてお話を伺いました。

貞綱さんは小学生の頃、4つ上の姉に引かれる形でバレーボールをやり始めました。初めはゆるいクラブだったのですが、監督が変わってからとても厳しくなり、土日にも練習する様になりました。貞綱さんはその時、キャプテンを務め、レシーバーだったこともあり、とても厳しく特訓されていた様です。部員7人のチームが県で2位、3位に入るぐらいの強豪となっていました。今考えてもあの厳しさは異常だったとの事。

そして社会人になっても地元のソフトバレーボール

レッツバレーボール!!

(有)可部不動産商事 貞綱 良平(さだつなりょうへい)氏(中◎)

クラブでやっておりましたが、5年前、26歳の時に結婚をし、子供が生まれてからは全然出来ておりません。いつかはまた出来る様になったらいいねと今は仕事と家庭の両立を頑張っておられました。

文：あさがお乳食 三上 良晃



貞綱氏は7番

コロナ禍の中、中支部の支部長になった村井です。

最初は何から同友会の活動を進めていいのかわかりませんでした。自社（飲食業やっています）の経営も緊急事態宣言で大打撃を受け、ふらふらしながら由緒ある中支部の支部長になったことを思い出します。支部理事会（毎月第4水曜日開催）では「どうやって会員に声をかけていいのかわからない」「同友会でどういう支援策があるのかわからない」そんな声が上がってきました。そこで中支部として、事務局の使い方、公的機関の利用を広報誌で紹介、活性化委員会（注1）起案の疲弊している飲食業を応援するプロジェクト「#木曜日はテイクアウト」を展開しています。

そして10月からは地域内連携推進委員会（注2）が主体となって「同友会ベストプロ」が始まりました。中支部に各種の専門家がいらっしゃるので、悩める経営者と専門家をマッチングして、経営の相談体制を築いていこうという取り組みです。10月は登録期間です。ぜひ、あなたの得意分野を登録してくださいませね。

さあ、これからも一緒に乗り越えていこうね、山も谷をも、甘いも酸いも噛み分けながら、手と手をつないで。

魅力ある委員会。一緒に活動する仲間、大募集です!

文：中支部支部長 村井由香

（注1）活性化委員会…支部全体の活性化を図ることを目的に、同友会の理念や基本的な運営などを確認出来る場や会員相互にコミュニケーションを図る場をつくります。新会員オリエンテーションを企画・実施します。新年互礼会、レクリエーションを担当し、企画・開催・支援します。

（注2）地域内連携推進委員会…県委員会、並びに広島4支部委員会と連携し、自社の強みを自覚し、地域資源を生かした仕事づくりをめざして、地域内連携（企業間連携ならびに官・学・金等との連携）について研究・交流を促進します。

2020年9月 中支部理事会のご報告

とき：2020年9月30日、ところ：事務局&Zoom、議長：高橋副支部長、出席者21/23名

■広島エリア連協の報告…互いの勉強会を生かしあうために、e.doyuの行事登録では、可能な限り「公開行事」にしていく事を申し合わせました。「テイクアウト」に関しては、今後、飲食店以外に、酒店や弁当販売店も掲載することになりました。

■仲間づくり委員会…新設企業へのDMを行います。

■広報委員会…名簿アプリキャンペーンを検討中。

■経営労働委員会…経営基礎講座の全日程が決定。ぜひ、新会員の方にお声がけを。

■障害者委員会…2/13に「共に生きる地域づくりフォーラム」を広島サンプラザで開催。

■地域内連携委員会…「同友ベストプロ」の準備中。まず会員に相談員の登録依頼を行います。会員は、それぞれの分野の専門家。ぜひその視点で登録いただけると幸いです。

■支部活動費執行状況…基準値は41.7%です。予算の執

行率は38.7%で特段の問題は起きていません。

■入退会の承認

【入会承認】1名

中⑨（有）オートライズ 代表取締役 三上 康雄 氏

【退会承認】7名

※以上承認されました。これにより、会員数は340名となりました。

■新年互礼会の構想…今中支部独自で開催します。内容は講演と懇親会。講演はZoomで行い、講師は丸山博氏。懇親会は地区・小組で分かれて開催。日程は1/15。

5) 討議事項

テーマ：コロナ禍における地区会の現状と課題

グループ討論：現状と課題をどう受け止め、改善するか

文責：事務局 橋本

※詳細はe.doyuの「広島中支部の文書管理」-「2020年度」-「支部理事会」に報告書がありますので、そちらをご覧ください。

● 2020年9月末の各地区会データ

	中①	中②	中③④	中⑨
会員数	27人	103人	108人	102人
e.doyu ログイン数	18人	40人	52人	38人
例会参加数	12人	27人	27人	29人
例会オブザーバー数	0人	2人	3人	3人
入会者数	0人	0人	0人	1人



広島県中小企業家同友会 広島中支部発行

広島市中区中町8-18広島クリスタルプラザ8F

TEL.082-241-6006 FAX.082-241-6007

HP <https://www.hiroshima.doyu.jp/>

e.doyu <https://hiroshima.e-doyu.jp/>

発行責任者：村井 由香 広報委員長：毛利 武雄